

## 長崎海外マーケットリサーチサークル(NIMR)

### 長崎海外マーケットリサーチサークル(NIMR)とは

長崎海外マーケットリサーチサークル[Nagasaki International Market Research (NIMR | ニムル)]は、長崎県内企業の海外展開に海外マーケットリサーチで貢献するため、2021年4月に長崎県立大学佐世保校にて有志の学生が設立した。2021年8月現在、4年生4人、2年生1人、1年生5人の計10人が所属している。既に東アジア、東南アジアの国・地域の市場調査・分析を行い、県内企業、行政機関や研究機関などから調査を受託している。

### 大学での学びを実践する場へ

現在、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から対面での活動を控え、Zoomなどのオンライン環境を活用し、毎週定例ミーティングを開催している。このうちミーティングでは、受託調査案件の進捗状況の確認、統計分析の勉強会など実施。また、勉強会では国際マーケティングの知識に加えて、統計データの収集・分析の方法を全員で学習。例えば、国際機関の公表している貿易統計データを利用して、日本から東南アジア地域向けに輸出されている主要品目の動向を調べて

いる。その他、各年の当該国・地域で起きた社会的事象が、日本からの輸出にどのような影響を与えているのかも紐づけて分析している。さらに市場調査において、必要とされるマクロ情報の収集と分析をメンバー全員が行えるように日々学習に取り組んでいる。

### これまでの取り組み・実績

2021年7月、NIMRは国立大学研究室からの受託で、長崎県在住の外国人を対象とした「日本産果実の嗜好調査」を長崎県立大学の起業サークル、FIRPEN(ファーペン)と連携して実施した。主に佐世保市内在住の留学生や技能実習生30人を対象に、日本産果実の試食会を開催した(写真1参照)。日本産果実への印象、母国での果実の購買目的等についてアンケート・ヒアリングを実施したほか、貿易統計を用いて、当該国へ輸出されている果物の輸出動向や輸出規制に関する調査も行った。

また、今年7月から8月にかけて佐世保市及び佐世保市商工会議所が、市内企業のIT導入・活用状況の把握を目的として実施した「佐世保市DX推進意識調査」では、NIMRもアンケート(主に集計・分析など)を担当している(写真2参照)。



写真1 「日本産果実の嗜好調査」でのアンケートの様子



写真2 「佐世保市DX推進意識調査」での作業風景

## NIMR／ニムルの活用

企業の海外展開では、現地の定量・定性情報が大切になる。日本国内では情報やマーケットデータの収集を徹底している企業も、「海外になると勝手がわからなくなり、結果的に断片情報や一部の知り合い情報に左右されてしまう」などの話を耳にする。だからこそジェトロ、県や銀行の海外拠点などの情報が重要になるが、日本国内でも情報収集が可能である点を強調しておきたい。前述の通りNIMRでは海外の市場調査を中心に、アンケート等の受託調査を行っている。また、在長崎県留学生ネットワークを利用することで、海外の嗜好調査も実施できる。これは県内製品の輸出にあたり、貴重な情報になるものであり、県内企業の海外展開に貢献するのではないだろうか。ぜひNIMRを活用して頂きたい。

### <NIMR 調査テーマ(案)>

進出先国の政治経済動向及び現地のビジネス環境情報
品目別の貿易(輸出入)動向と自由貿易協定に関わる調査
技能実習生の派遣元国に関する政治経済動向
佐世保市を中心とした長崎県在住留学生の意識調査
長崎県におけるインバウンド調査

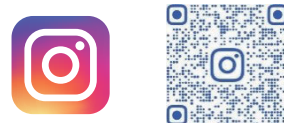


NIMR 公式SNS



Nagasaki\_market\_research

大久保文博研究室 公式SNS



okubofumihirolabo

※筆者の所属するサークルと研究室の公式SNS

### 【執筆者略歴】

長崎県立大学 経営学部 国際経営学科 4年

あさかりゅうだい

浅賀 隆太

栃木県宇都宮市出身。大久保文博ゼミナール(東南アジアビジネス研究室)所属。2020年夏、新型コロナウイルス感染拡大により澳門大学の交換留学を断念して、長崎県から北海道まで自転車(ママチャリ)で日本縦断。「大学で学んだことを地域のために実践する場」として、長崎県内企業の海外展開に貢献するべく2021年4月、Nagasaki International Market Research (NIMR)を設立。現在、NIMR初代代表。

問合せ先 | nimir.marketresearch@gmail.com(浅賀)

